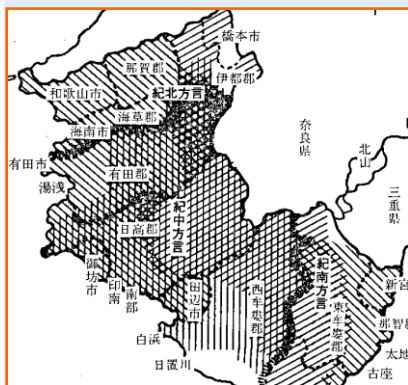


## ● 新規購入図書紹介

図 書 名	著 者	出 版
議 会 ・ 地 方 自 治		
逐条解説 公職選挙法	安田 充・荒川 敦	ぎょうせい
自治体財政がよくわかる本 改訂版	兼村 高文・星野 泉	イマジン出版
50のポイントでわかる 地方議員 予算審議・決算審査ハンドブック	稲沢 克祐	学陽書房
ま ち づ く り		
地域ブランドのつくり方と働き方	ディスカバージャパン 編 集部	柘出版社
地方創生の切り札 DMOとDMCのつくり方	佐藤 真一	柘出版社
改訂新版 地域再生と町内会・自治会	中田 実・山崎 丈夫 小木曾 洋司	自治体研究会
教 育		
「子どもの貧困」解決への道 実践と政策からのアプローチ	浅井 春夫	自治体研究社
そ の 他		
深刻化する「空き家」問題 全国実態調査からみた現状と対策	日本弁護士連合会法律サービス展 開本部自治体等連携センター / 日本弁護士連合会公害対策・環境 保全委員会	明石書店
新しい国保のしくみと財政	神田 敏文・長友 薫輝	自治体研究社

## 🎉🎉🎉 和歌山の方言 🎉🎉🎉

5月の大型連休もあっという間に終わりましたね。この連休に里帰りした方も多いのではないのでしょうか？私は生まれてからずっと和歌山に住んでいますが、普段何気なく話している言葉が実は和歌山の方言だったり、時々和歌山人同士でもわからない方言があったりします。以前、友人から「食べ過ぎてつつないわぁ」と言われたとき、つつないの意味が理解できず聞き返しました。つつないとは和歌山の方言で、苦しい・息苦しいといった意味なんですね。図書室に和歌山の方言についての本があったので色々調べてみました。



和歌山で使われる方言はすべて和歌山弁だと思っていたのですが、大きく紀北方言・紀中方言・紀南方言の3つに分けられます。その中でも紀北方言は、さらに和歌山方言・那賀方言・伊都方言に分けられることを知りました。

和歌山の方言の特徴は一般的に敬語がないと言われ、「ざじすぜぞ」が「だぢづでど」と混合したり、語尾に「ちゃら」をつけ、〇〇しているを「〇〇しちゃあら」と言います。私が普段使う方言は、～しか（～の方が・～だけ）、はなから（最初から）、なんせ（何しろ・何にしても）、こすい（ずるい）などです。小さい頃祖母から「おっちゃんしなさい」と言われたのを覚えています。おっちゃんも方言で、座るという意味です。本を読んで初めて知った方言は、あもかもちか（どちらとも解らぬこと）、ちよんさき（尖った先）、かたかま（がんこ）、おまんにすわる（正座する）、はつはつに（ぎりぎりに）などたくさんありました。また、和歌浦へ遊びに行くことを「わかいき」とも言っていたそうです。

今回調べてみて、こんな方言もあったんだという新しい発見ができたので、これからもいろんな場面で方言に注目していきたいです！